

定期作況報告

(第6号 平成22年10月20日現在)
地方独立行政法人北海道立総合研究機構
農業研究本部 上川農業試験場

1. 気象概況

9月下旬：最高気温は平年より1.2℃低く、最低気温も平年より0.3℃低かった。降水量は平年より15.2mm少なく、平年対比58%であった。降水日数は平年と同じであった。日照時間は平年より15.8時間少なく、平年対比69%であった。

10月上旬：最高気温は平年より0.9℃高く、最低気温も平年より1.6℃高かった。降水量は平年より2.9mm少なく、平年対比93%であった。降水日数は平年より1日少なかった。日照時間は平年より0.3時間多く、平年対比101%であった。

10月中旬：最高気温は平年より0.5℃高く、最低気温も平年より1.5℃高かった。降水量は平年より3.6mm多く、平年対比112%であった。降水日数は平年より1日多かった。日照時間は平年より2.0時間少なく、平年対比95%であった。

9月下旬から10月中旬までの気象は表1のとおりである。

表1 気象

調査項目	9月下旬			10月上旬			10月中旬			平均または合計		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
最高気温(℃)	17.6	18.8	▲1.2	18.0	17.1	0.9	15.3	14.8	0.5	17.0	16.9	0.1
最低気温(℃)	7.2	7.5	▲0.3	8.2	6.6	1.6	5.4	3.9	1.5	6.9	6.0	0.9
平均気温(℃)	12.2	12.8	▲0.6	12.7	11.4	1.3	10.0	9.0	1.0	11.6	11.1	0.5
降水量(mm)	21.0	36.2	▲15.2	37.5	40.4	▲2.9	33.0	29.4	3.6	91.5	106.0	▲14.5
降水日数(日)	5	5	0	5	6	▲1	7	6	1	17	17	0
日照時間(hr)	34.6	50.4	▲15.8	43.5	43.2	0.3	42.3	44.3	▲2.0	120.4	137.9	▲17.5

注1) 比布アメダス観測値。

2) 平年は比布アメダス前10カ年の平均値。

3) ▲印は平年に比べて減を示す。

2. 作 況

1) 水 稲 : 良

事由：出穂期は平年より6～7日早かったが、7月下旬から8月上旬の日照不足により前期の登熟が劣り登熟後期では穂基部の登熟が進まなかったため、登熟日数が平年より5～6日長くかかり、成熟期はほぼ平年並となった。

〔籾数〕 m²当たり穂数は平年対比「ほしのゆめ」が89%「きらら397」が95%で少なく、「ななつぼし」は99%で平年並みであった。一穂籾数は平年対比「きらら397」が106%で平年より多く、「ほしのゆめ」は94%「ななつぼし」が97%でやや少なかった。m²当たり籾数（m²当たり穂数×一穂籾数）は平年対比「きらら397」がほぼ平年並であったが、「ほしのゆめ」は83%「ななつぼし」は96%で少なかった。

〔稔実歩合・稔実籾数〕 稔実歩合はいずれの品種も平年より高く、平年対比103～107%であった。m²当稔実籾数（m²当たり籾数×稔実歩合）は平年対比「ほしのゆめ」は86%と少なかったが、「きらら397」は107%と多く、「ななつぼし」は102%でやや多かった。

〔登熟歩合・m²当たり登熟籾数〕 登熟歩合は平年対比「ななつぼし」が98%とやや低かったが、「ほしのゆめ」「きらら397」は平年並みであった。m²当たり登熟籾数（m²当たり籾数×登熟歩合）は平年対比「ほしのゆめ」は84%、「ななつぼし」が94%で平年より少なく、「きらら397」は101%で平年並みであった。

〔精玄米千粒重〕 いずれの品種も平年より1g以上重く、平年対比「ほしのゆめ」は106%、「きらら397」は104%、「ななつぼし」は105%であった。

〔精玄米重〕 粒厚1.90mm以上の収量は平年対比で108～115%と多収であった。

以上、m²当稔実籾数は平年よりやや多く、登熟歩合がほぼ平年並みで、登熟日数は長かったものの登熟は良好で精玄米千粒重が平年より重く多収となった。したがって、本年の作況は「良」である。

表2 生育期節

品種名	苗	成熟期(月・日)			登熟日数(日)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較
ほしのゆめ	成苗	9.03	9.04	△1	49	44	5
きらら397	成苗	9.11	9.11	0	55	49	6
ななつぼし	成苗	9.08	9.09	△1	53	48	5

注1) 平年値は平成15～21年7カ年のうち平成20年（最豊年）、平成21年（最凶年）を除いた5カ年の平均を用いた。

2) △印は平年に比べて「早」（成熟期）を示す。

表3 収量構成要素および稔実歩合

品種名 苗	㎡当たり穂数(本)				一穂粒数(粒)				㎡当たり粒数(×1000粒)			
	本年	平年	比較	対比(%)	本年	平年	比較	対比(%)	本年	平年	比較	対比(%)
ほしのゆめ 成苗	673	759	▲ 86	89%	39.8	42.4	▲ 2.6	94%	26.8	32.2	▲ 5.4	83%
きらら397 成苗	661	693	▲ 32	95%	45.0	42.5	▲ 2.5	106%	29.7	29.4	▲ 0.3	101%
ななつぼし 成苗	650	658	▲ 8	99%	49.3	50.9	▲ 1.6	97%	32.0	33.5	▲ 1.5	96%

品種名 苗	稔実歩合(%)				㎡当稔実粒数(×1000粒)				登熟歩合(%)			
	本年	平年	比較	対比(%)	本年	平年	比較	対比(%)	本年	平年	比較	対比(%)
ほしのゆめ 成苗	93.7	91.1	▲ 2.6	103%	25.1	29.3	▲ 4.2	86%	85.5	85.2	▲ 0.3	100%
きらら397 成苗	95.6	90.0	▲ 5.6	106%	28.4	26.5	▲ 1.9	107%	84.1	84.1	▲ 0.0	100%
ななつぼし 成苗	96.8	90.5	▲ 6.3	107%	31.0	30.3	▲ 0.7	102%	85.2	86.5	▲ 1.3	98%

品種名 苗	㎡当登熟粒数(×1000粒)				精玄米千粒重(g)				精玄米重(kg/10a)			
	本年	平年	比較	対比(%)	本年	平年	比較	対比(%)	本年	平年	比較	対比(%)
ほしのゆめ 成苗	22.9	27.4	▲ 4.5	84%	23.5	22.1	▲ 1.4	106%	62.6	54.3	▲ 8.3	115%
きらら397 成苗	25.0	24.7	▲ 0.3	101%	24.0	23.0	▲ 1.0	104%	66.6	57.8	▲ 8.8	115%
ななつぼし 成苗	27.3	29.0	▲ 1.7	94%	23.2	22.1	▲ 1.1	105%	66.8	61.7	▲ 5.1	108%

注1) 平年値は平成15～21年7カ年のうち平成20年（最豊年）、平成21年（最凶年）を除いた5カ年の平均を用いた。

2) ▲印は平年に比べて「減」を示す。

3) 一穂粒数の平年値は、登熟調査および不稔調査を行った計12株の平均値を用いた。本年値は22株の平均値を用いた。

4) 稔実歩合：触手で求めた。

5) 登熟歩合：比重1.06の塩水選で求めた。

6) 精玄米千粒重・精玄米重：粒厚1.90mm以上。水分15.0%に換算。

2) 秋まき小麦： 平年並

事 由：播種期は平年より6日遅い9月15日、出芽期は平年より5日遅い9月23日であった。現在のところ、平年と比較して草丈、茎数、葉数ともやや下回ったが、十分な生育量は確保できている。したがって、目下の作況は平年並である。

表4 10月20日の秋まき小麦の生育

品 種 名	播種期 (月日)			出芽期 (月日)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
きたほなみ	9.15	9.09	6	9.23	9.18	5

品 種 名	草 丈 (cm)			茎 数 (本/m ²)			葉 数 (枚)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
きたほなみ	23.2	24.6	▲1.4	1158	1208	▲50	4.7	5.2	▲0.5

注1) 平年値は、前6か年中、平成22年を除く5か年の平均値(収穫年度)。

2) ▲は平年より減を示す。

3) 大 豆 : 不良

事 由：百粒重は平年より1.8g軽く、子実重は平年比74%と平年を大幅に下回った。したがって、目下の作況は不良である。

表5 大豆の収量

品 種 名	子 実 重 (kg/10a)				百 粒 重 (g)			屑 粒 率 (%)		
	本年	平年	比較	対平年比(%)	本年	平年	比較	本年	平年	比較
ユキホマレ	327	444	▲117	74	36.6	38.4	▲1.8	1.4	1.1	0.3

注1) 平年値は前7か年中、平成18年、21年を除く5か年の平均値。

2) ▲は平年より減を示す。

4) 小豆 : 不良

事由：百粒重は「エリモシヨウズ」で平年を下回り、「しゅまり」で平年をやや下回った。子実重は「エリモシヨウズ」で平年比 80 %、「しゅまり」で同 85 %と低収であった。屑粒率は平年並からやや上回った。

したがって、目下の作況は不良である。

表6 小豆の収量

品種名	子実重 (kg/10a)			
	本年	平年	比較	対平年比(%)
エリモシヨウズ	267	335	▲68	80
しゅまり	277	324	▲47	85

品種名	百粒重 (g)			屑粒率 (%)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
エリモシヨウズ	10.6	12.4	▲1.8	0.9	1.2	▲0.3
しゅまり	11.4	11.7	▲0.3	2.4	1.5	0.9

注1) 平年値は、前7か年中、平成15年、平成16年を除く5か年の平均値。

2) ▲は平年より減を示す。